



**Cab SQUIX ラベルプリンタ
クイックオペレーションガイド**

2017.5.21

ムナシマ株式会社

目次

1	はじめに	4
1.1	プリンタを正しくお使いいただく為に	5
1.2	警告及び特記事項	6
2	インストレーション	7
2.1	プリンタの概観	7
2.2	ラベルプリンタを取り出す	10
2.3	WLANスティックをインストールする	10
2.4	プリンタの接続	11
2.4.1	電源に接続	11
2.4.2	パソコン又はパソコンネットワークに接続	11
2.5	プリンタのスイッチをオンにする	11
3	タッチスクリーンディスプレイ	12
3.1	スタートスクリーン	12
3.2	メニュー内のナビゲーション	14
4	メディアの取り付け	16
4.1	ロールからメディアを装着	16
4.1.1	メディアをロール固定装置に位置づけ	16
4.1.2	メディアストリップをプリンタヘッドに挿入	17
4.1.3	ラベルセンサの設置	18
4.1.4	リワインドモードでメディアストリップを巻き取る	19
4.1.5	巻き取られたロールを取り外す	20
4.1.6	剥がし(Peel-Off)モードでライナー巻き取る	21
4.2	折りたたみメディアと設置	22
4.3	ヘッドロッキングシステムを設置	23
4.4	リワインドガイドプレート、供給プレート又は切り取りプレートの取り外しと設置	24
4.5	転写リボンをインストール	25
4.6	転写リボンの進路を設置	26
5	印刷動作	27
5.1	給紙の同期（シンクロナイゼーション）	27
5.2	切り取り(Peel-Off)モード	27
5.3	剥がし(Tear=Off)モード	27
5.4	内部リワインダ	28
5.5	メディアのフィードバックと抑制する(SQUIX 4MTのみ)	28
6	クリーニング	29
6.1	クリーニングについての注意事項	29

6.2	プリントローラのクリーニング.....	29
6.3	プリントヘッドのクリーニング.....	29
6.4	ラベルセンサのクリーニング.....	30
7	カスタマーサポート.....	31

1. はじめに

通信機器・制御機器の注文に際してのお願い

通信機器・制御機器のお見積、ご注文に際しましては、見積書・カタログ・仕様書などに特記事項のない場合、下記一般条項をご承認の上、ご手配いただきます様お願いします。

●保証期間と保証範囲

「保証期間」

納入品の保証期間は、ご購入時の cab 社の Warranty Policy に準拠します。

弊社出荷日より、1 年間（但しプリンタヘッドは、弊社出荷日より 90 日以内で、印字長が 25km 以内のものに限定）

「保証範囲」

上記保証期間中に納入者側の責により故障を生じた場合は、その機器交換、又は修理を納入者側において行います。

次に該当する場合は、この保証対象から除外させていただきます。

- ◇ 設置環境下における機器特性の変化
- ◇ 需要者側の不適当な取扱いならびに使用。
- ◇ 故障の原因が納入品以外の事由による場合。
- ◇ その他、天災・災害などで納入者側の責にあらざる場合。

尚、ここでいう保証は納入品単体の保証を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害はご容赦いただきます。

** 納入品の価格にはサービス費用は一切含んでおりません。 **

- ① 本書の内容に関しては将来予告無しに変更することがあります。
- ② 本書内において万一ご不審な点、誤り、記載漏れなどお気づきのことがありましたらご連絡下さい。
- ③ 運用した結果の影響について②項にかかわらず一切責任を負いかねますので予めご了承下さい。

1.1 プリンタを正しくお使いいただく為に

プリンタは、光学／精密電子機器ですのでお取り扱いには十分なご注意が必要です。下記内容のご注意点の遵守をお願いいたします。

ご注意点

- 熱の発生源の近く、直射日光の当る場所、電磁界、腐食ガスの環境、埃の多い所、使用周囲温度(15～30℃)／使用周囲湿度(10～80%)を越える場所に設置しないでください。＊但し結露なきこと。
- 本体を持ち運ぶときは、衝撃を与えないようにして下さい。
- 振動や衝撃の加わる場所での設置はしないで下さい。また、本体や電源コード等の上に物を載せないで下さい。故障による火災・感電の原因となります。
- 排熱のための通風口をふさがないで下さい。故障による火災の原因となります。
- 水場付近では使用しないで下さい。
- 絶対に分解したり修理・改造しないでください。火災や感電の原因となります。
また、分解された場合には保証期間中であっても無償保証の対象外となります。
- 電源及び通信プラグを抜くときはコードを持たず、必ずプラグ部分を持って抜いてください。
- 付属の電源及び通信コード以外は使用しないで下さい。火災、感電、故障の原因となります。
- 本体から何かこげるような匂いがしたり、異様な音がしたときは直に電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。
- **機器に影響を与える恐れのある電磁波等が発生し易い装置のそばには設置はしないで下さい。**
- 雷が近いときはすみやかに電源を OFF にし電源コードをコンセントから抜いて下さい。
- 長時間使用しないときは、電池を OFF にし電源プラグはコンセントから抜いて下さい。漏電、火災の原因となります。
- プリンタ記録紙は、乾燥した冷暗所に保存してください。

1. 2 警告及び特記事項

お客様の安全と機器を保護するために、太字で記した注意事項を読んで、従ってください。



危険！

お客様の安全と機器に対するダメージを引き起こす条件



注意！

プリンタ及びその周辺機器に対するダメージを引き起こす条件



重要

プリンタの正しい操作の為に不可欠な情報



注記

プリンタ操作に役立つ情報とヒント

2 インストレーション

2. 1 プリンタの概観

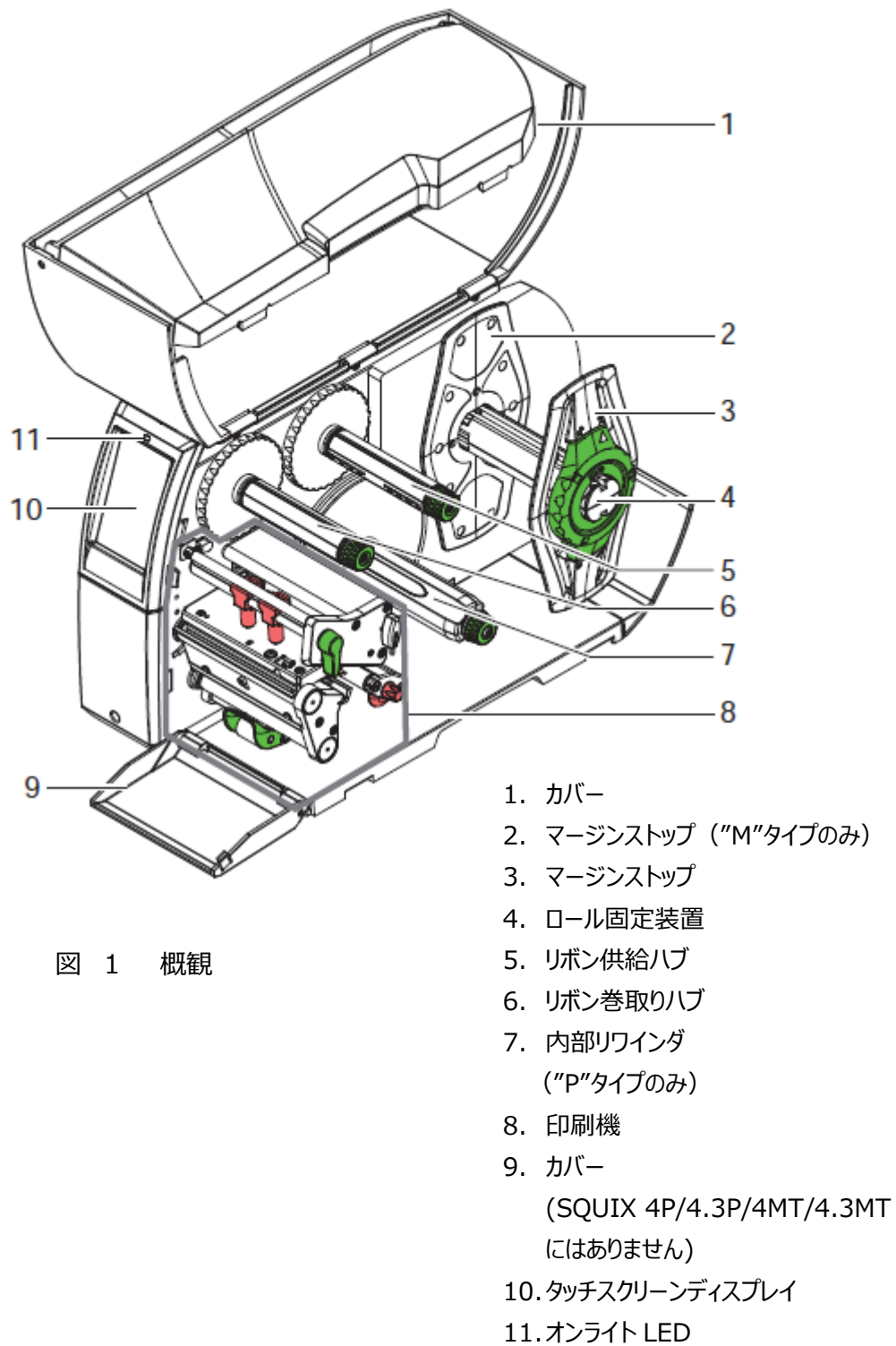


図 1 概観

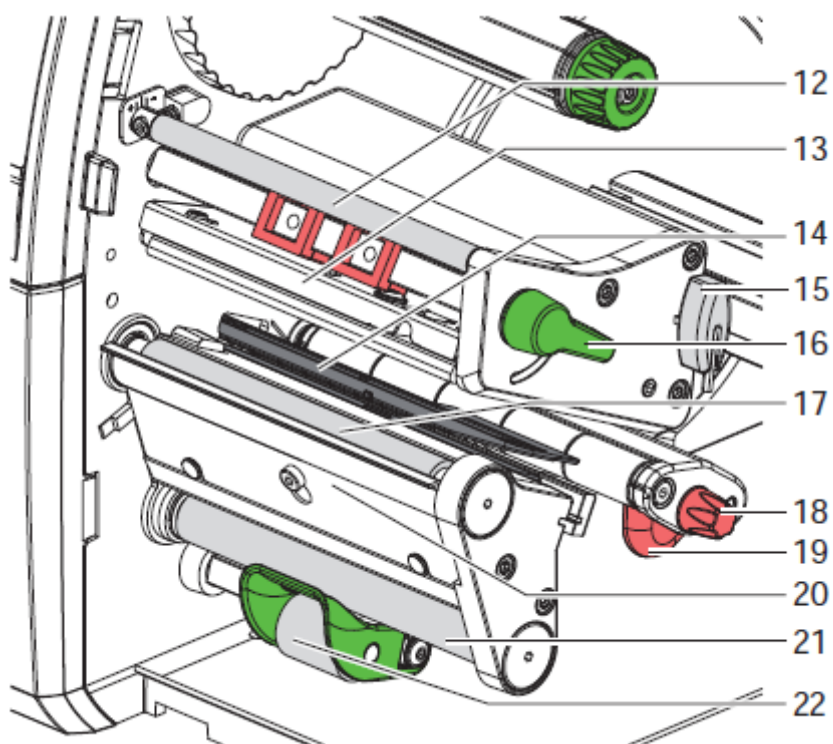


図2 印刷機部分

- 12. リボンのゆがみ
- 13. プリントヘッド付きのプリントヘッド固定器具
- 14. ラベルセンサ
- 15. 六角レンチ
- 16. プリントヘッドロックレバー
- 17. プリントローラ
- 18. ガイド調整ノブ
- 19. ガイド
- 20. 排出プレート
- 21. 巻き戻しアシストローラー（"P"タイプのみ）
- 22. ロックシステム（"P"タイプのみ）

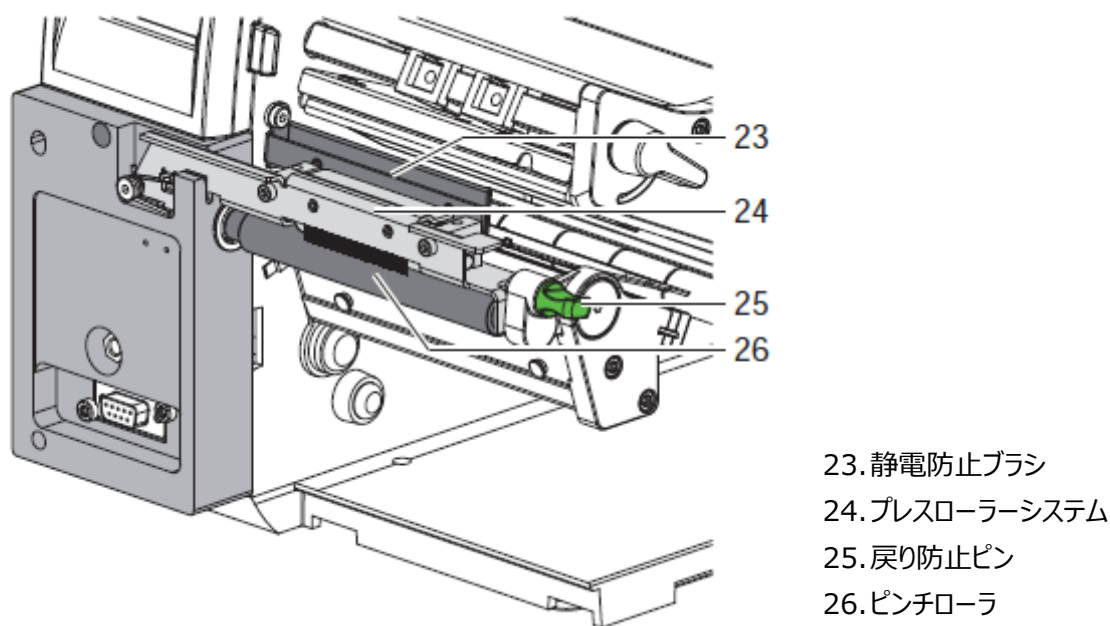


図 3 SQUIX 4MT のセパレータ

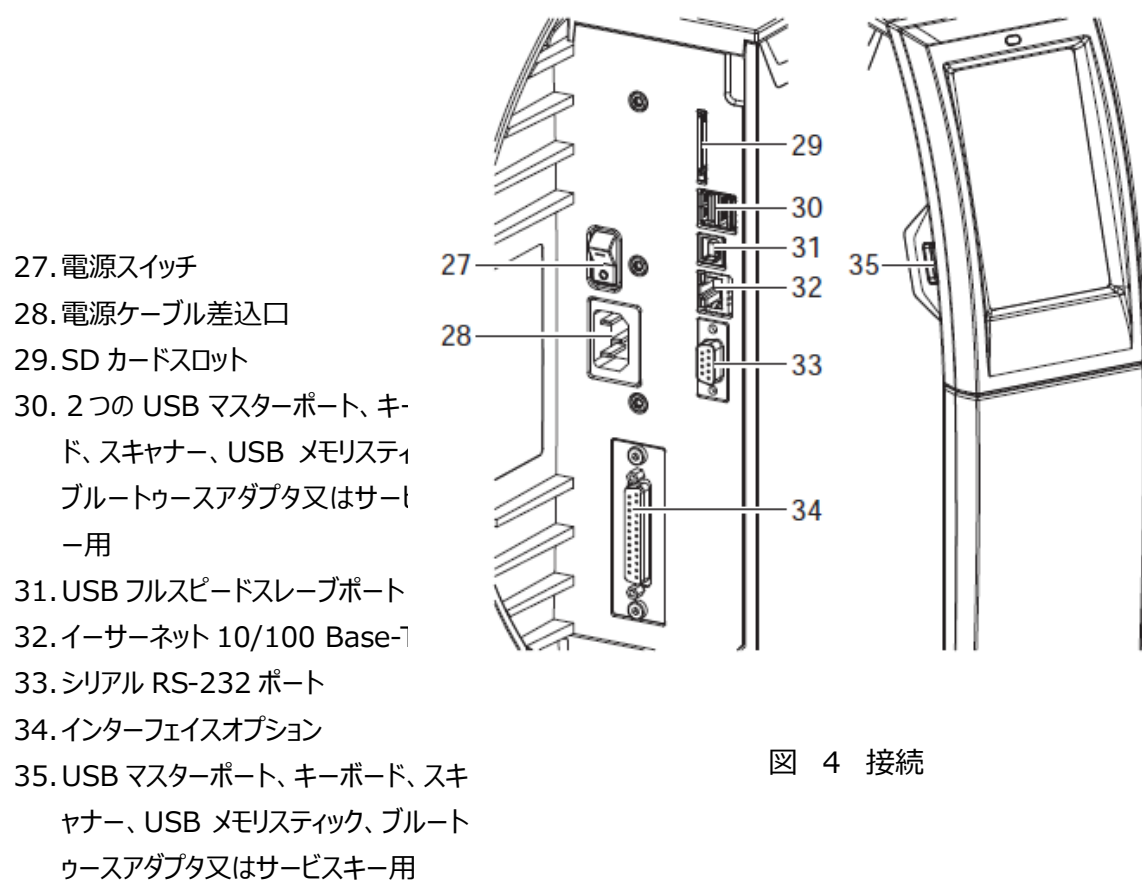


図 4 接続

2. 2 サーマルプリンタを取り出す

- 帯を持って箱の中からサーマルプリンタを持ち上げてください。
- サーマルプリンタに傷や破損などが点検してください。
- 平らな表面にプリンタを設置してください。
- プrintヘッド保護材を取り外してください。
- すべて揃っているかチェックしてください。

内容

- * ラベルルプリンタ
- * 電源ケーブル
- * USB ケーブル
- * WLAN スティック
- * ユーザーマニュアル
- * ラベルソフトウェア、Windows ドライブの DVD

注記： 今後のために元の包装材を残しておいてください。

湿気や水分によってプリンタ及びプリントメディアはダメージを受けます。サーマルプリンタは水気のない乾燥した場所に設置してください。

2. 3 WLAN スティックをインストールする

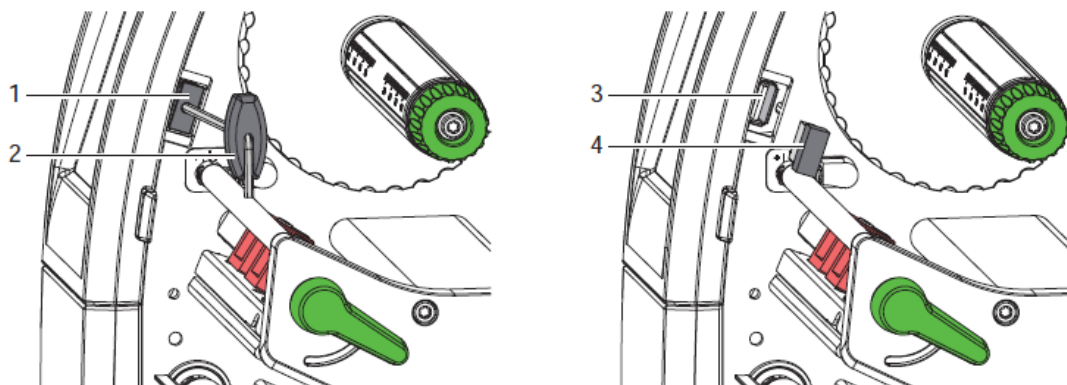


図 5 WLAN スティックのインストール

- 六角レンチ(1)でカバー(2)をはずしてください。
- WLAN スティック(4)をコントロールパネルの USB インターフェイス(3)に接続してください。

2. 4 プリンタの接続

図 4 に使用可能な標準インターフェイス及びコネクタが表示されています。

2. 4. 1 電源に接続

必要な電圧は 230V 50 Hz 又は 115V 60 Hz です。

1. プリンタのスイッチがオフになっていることを確認してください。
2. 電源ケーブルを電源ソケット（2 8）に差込んでください。
3. 電源ケーブルのプラグを接地されたコンセントに差し込んでください。

2. 4. 2 パソコン又はパソコンネットワークに接続

注記： 不十分なアース又はアースされていない場合、運転に支障を来す可能性があります。サーマルプリンタに接続されるすべてのコンピュータ及び接続ケーブルはアースされていることを確かめてください。

適したケーブルを使ってラベルプリンタをパソコン又はネットワークに接続してください。

2. 5 プリンタのスイッチをオンにする

すべての接続が完了したら：

- プリンタの電源スイッチ（2 7）をオンにしてください。プリンタはシステムテストを行い、ディスプレイ（1 0）に Ready と表示します。

3 タッチスクリーンディスプレイ

プリンタの動作をコントロールパネルでコントロールすることが可能です：

- 発行、中断、継続及びジョブのキャンセル
- 印刷パラメータの設定、例えばプリントヘッドの温度レベル、印字速度、インターフェイスの構成、言語及び日時の設定」など
- メモリーモジュールでスタンドアロン機能をコントロール
- ファームウェアのアップデート

プリンタ自体のコマンドを使用してソフトウェアのアプリケーション又はパソコンから直接のプログラミングによって数多くの機能や設定をコントロールする事ができます。

タッチスクリーンディスプレイの上での設定によってラベルプリンタの基本設定が行われます。

注記： できる限り、ソフトウェアの内であらゆる印刷ジョブに適用させることが得策です。

3. 1 スタートスクリーン



図 6 スタートスクリーン

タッチスクリーンの操作は直接タッチで行います。

- メニューを開いたり、メニューを選択する場合はそれぞれの記号を軽くタッチしてください。
- リストをスクロールする場合はディスプレイの上で指を上下にスライドさせてください。

	メニューを開く		最後に印刷したラベルを繰り返す
	印刷ジョブを中断		すべての印刷オブをキャンセル
	印刷ジョブを続ける		白紙のラベルを給紙

注記： 動作無しの記号は薄暗くなっています。

特別なソフトウェア又はハードウェアの構成によって新たな記号がスタートスクリーンに現れます。

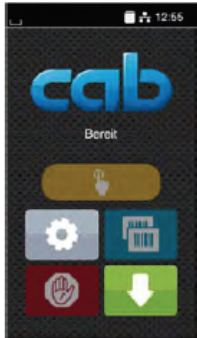
		
プリントジョブなしでオンデマンド印刷	プリントジョブ内でオンデマンド印刷	インストールされた CU, PCU 又は ST カッターで直接カット

図 7 スタートスクリーン上のオプション記号

	剥離、カット、を含む印刷ジョブ内の 1 枚のラベルの印刷を開放する		給紙せずに直接カットを開放する
--	-----------------------------------	--	-----------------

表 2 スタートスクリーン上のオプション記号

構成によって上欄にはウィジェットとしていくつかの情報があります。



図 8 スタートスクリーンのウィジェット

	現在のデータの転送を表します
	データストリーム保存機能が有効。受け取ったすべてのデータを.lbl ファイルに保存。
	リボンの終了を警告。供給リボンロールの残りの直径が設定値を下回る。
	SD カード挿入済み
	USB メモリ挿入済み
	グレー：ブルートゥースアダプタインストール済み。 白：ブルートゥース接続有効
	WiFi 接続有効。WiFi の強さは弧の数で表示。
	イーサネット接続有効。
	USB 接続有効
	時計

表 3 スタートスクリーンのウィジェット

3. 2 メニュー内のナビゲーション

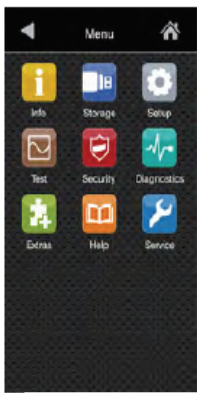
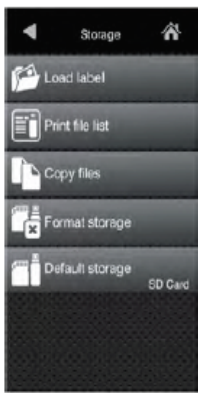
		
スタートメニュー	選択メニュー	パラメータ・機能メニュー

図 9 メニューレベル

- これを選んでメニューを開いてください 
- 選択メニューではテーマを選んでください。
いくつかのテーマにはさらに選択可能な下位のメニューがあります。
現在のレベルから上位に戻る場合は 
- メニューを終了する場合は 
- パラメータ・機能メニューへ到達するまで選択を続けてください。

- 機能をスタートさせてください。恐らくダイアログが用意されてから機能が実行されるか又はパラメータを選択してセットします。設定の実現性はパラメータの種類によります。

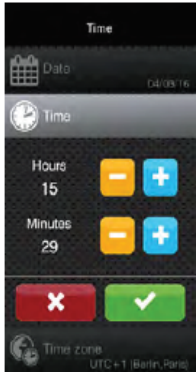
 論理構成パラメータ	 選択パラメータ	 数字のパラメータ	 日付・時間
--	--	--	--

図 10 パラメータ設定のサンプル

	概算値設定スクロールバー
	値を徐々に減らす
	値を徐々に増やす
	設定を保存せずに戻る
	設定を保存して戻る
	パラメータは無効。タッチで有効に
	パラメータは有効。タッチで無効に

表 4 パラメータ設定のボタン

4 メディアの取付け

注記： 調整や簡単な取付等についてはプリンタの上部にある付属の六角レンチを使ってください。ここで説明される作業については他のツールは必要ありません。

4. 1 ロールからメディアを装着

4. 1. 1 メディアロールをロール固定装置に位置づけ

ラベルロールの芯の直径が $\geq 75\text{mm}$ （バージョン A6+と A8+）を使用する場合、ラベルロールをより良く誘導するために芯の為のアダプターを取り付けます。小さなラベルロールの場合、芯のアダプターは取り外します。

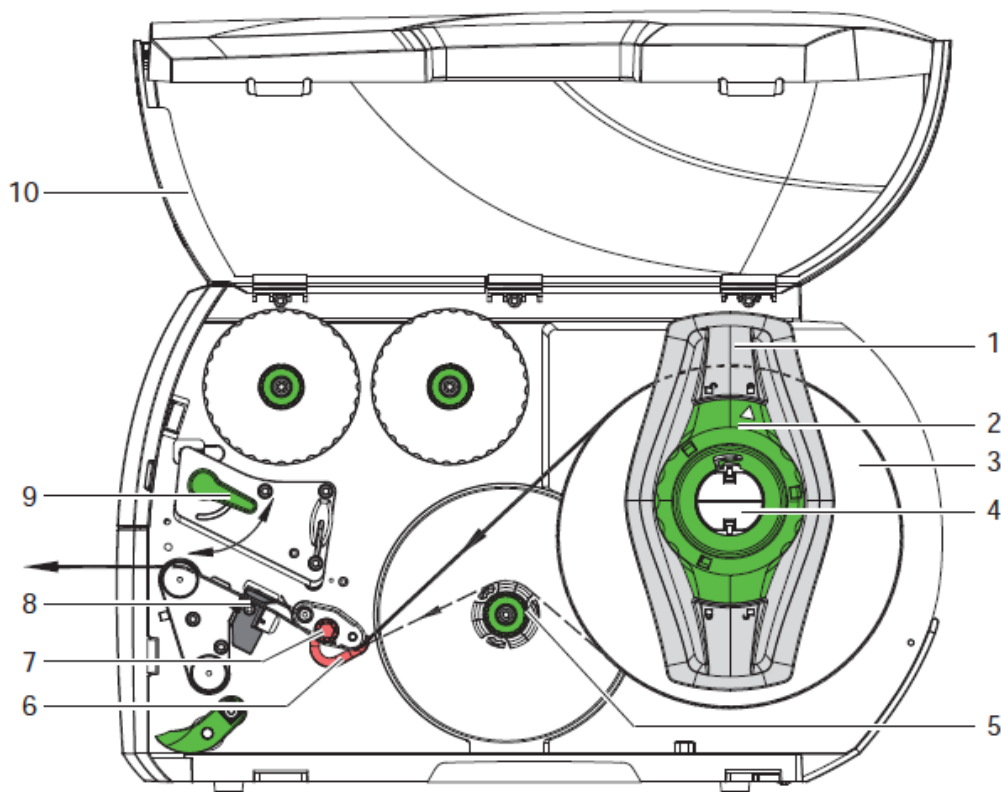


図 11 ロールからメディアを装着

1. カバー（10）を開きます。
2. 矢印がを指すようにマージストップ（1）のところのリング（2）を反時計回りに回しますと、マージストップが開放されます。
3. ロールの固定装置（4）からマージストップ（1）取り外してください。

4. ラベルがプリントヘッドに正しく差込めるような状態でラベルロール（3）をロール固定装置に装着してください。ラベルに印刷される側が上から見えなければなりません。

* SQUIX 4/4P

マージンストップ（1）をロール固定装置（4）に再度乗せてください。ロールがシャースとロール固定装置にあたるまでマージンストップ（1）をロールまで押し込んでください。

* SQUIX 4M/4MP/4MT

マージンストップ（1）をロール固定装置（4）に再度乗せてください。ロールが両方のロール固定装置にあたるまでマージンストップ（1）をロールまで押し込んでください。

5. 矢印（10）がを指すようにリング（2）を時計回りに回してください。マージンストップ（1）がロール固定装置（4）に固定されます。
6. 長いラベルメディアを供給してください。
剥がし(Peel-Off)又は巻き戻し(Rewind)モードの場合は約 60 cm
切り取り(Tear-Off)の場合は約 40 cm

4. 1. 2 メディアストリップをプリントヘッドに挿入

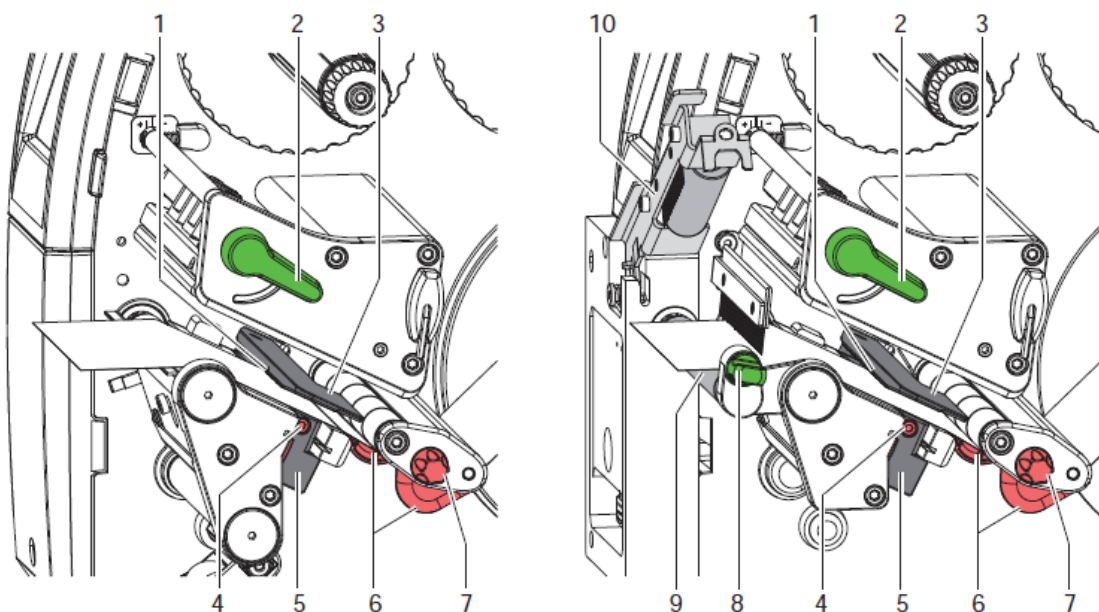


図 12 メディアストリップをプリントヘッドに挿入

1. レバー（2）を反時計回りに回転させてプリントヘッドを持ち上げます。
2. * SQUIX 4MT: 戻り止めピン（8）を引っ張ってください。ロールシステム（10）が上に上がります。

3. ノブ（7）でガイド（6）を調整してください： * SQUIX 4/4P の場合、メディアがガイドとシャーシの間を通れるように。 * SQUIX 4M/4MP/4MT の場合、目デイスが 2 つのガイドの間を通れるように。
4. ラベルストリップを内部リワインダの上を通してプリントユニットへ。
5. ラベルストリップがプリントユニットとプリントローラの間から出て来るようにラベルセンサ（5）のところに通してください。
6. * SQUIX 4MT: ラベルストリップをセパレータのロールシステム（10）とピンチローラ（8）の間をさらに通して、戻り止めピンを引っ張り、ローラシステム（10）を下側に押し下げ、戻り止めピンでロックしてください。
7. ノブ（7）を回してガイド（6）をメディアの端に当ててください。

4. 1. 3 ラベルセンサの設置

メディアに適応するためにラベルセンサを紙の流れの方向に対して直立に移すことができます。ラベルセンサのセンサユニット（1）はプリントユニットの前方から見えます、そしてラベルセンサの歯止めには刻み目で印されています。プリンタがオンになると、黄色い LED がセンサの位置を照らします。

- ネジ（4）を緩めてください。
- センサがラベルの隙間又は反射又はミシン目を発見できるようにラベルセンサをタブ（5）で位置づけてください。
 - 又はもしラベルが長方形の形から逸脱する場合–
- タブを使ってラベルセンサを紙の流れの方向のラベルの前の端に合わせてください。
- ネジ（4）を締めてください。

切り取り（Tear-Off）モードで使用する場合のみ：

- レバー（2）を時計回りに回してプリントヘッドをロックします。
ラベルロールは切り取り（Tear-Off）モードで使用する場合には取り付けます。

4. 1. 4 リワインドモードでメディアストリップを巻き取る

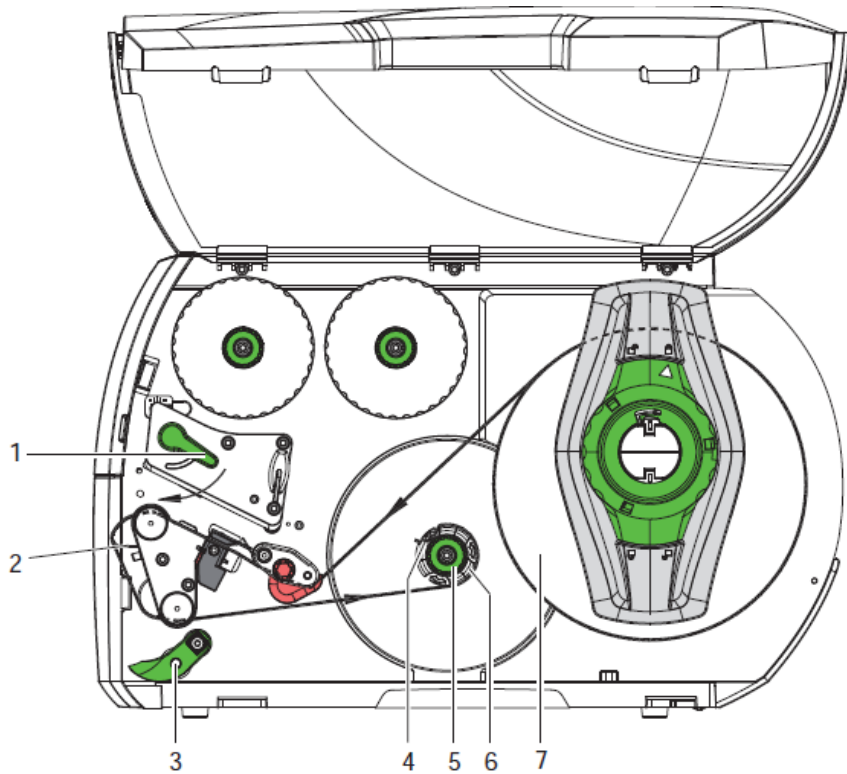


図 13 リワインドモードでメディアストリップを巻き取る

巻き戻し（Rewind）モードではラベルは内部で印刷後に後の使用のために巻き上げられます。

1. 巻き戻しガイドプレートをインストールしてください（ページ 23 の 4. 4 を参照）。
2. ピンチローラ（3）をリワインドアシストローラから上に持ち上げてください。
3. ラベルストリップをリワインドガイドプレート（2）の周りから内部リワインダへ（6）へ渡してください。
4. リワインダ（6）をしっかり持って、ノブ（5）を止まるところまで時計回りに回してください。
5. ラベルストリップをリワインダのブラケット（4）の下へ押し込み、ノブ（5）を止まるところまで反時計回りに回してください。
6. リワインダ（6）を反時計回りに回してラベルストリップをピンと張ってください。
7. レバー（1）を時計回りに回してプリントヘッドをロックしてください。

ラベルロールはリワインドモードで使用できるようにセットされました。

4. 1. 5 巻き取られたロールを取り外す

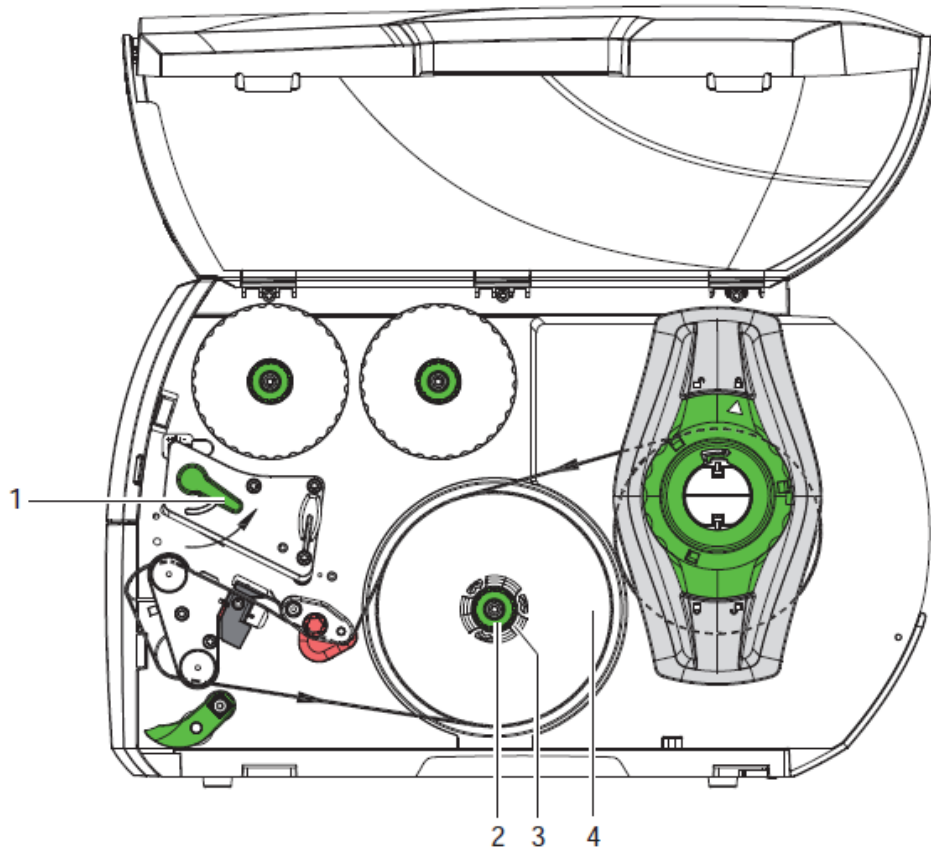


図 14 巻き取られたロールを取り外す

1. レバー（1）を反時計回りに回してプリントヘッドを引き上げてください。
2. ラベルストリップを切ってリワインダ（3）の周りに巻いてください。
3. リワインダ（3）をしっかり持って、ノブ（2）を時計回りに回してください。リワインスピンドルが緩み、ロール（4）は開放されます。
4. リワインダ（3）からロール（4）を取り外してください。

4. 1. 6 剥がし (Peel-Off) モードでライナーを巻き取る

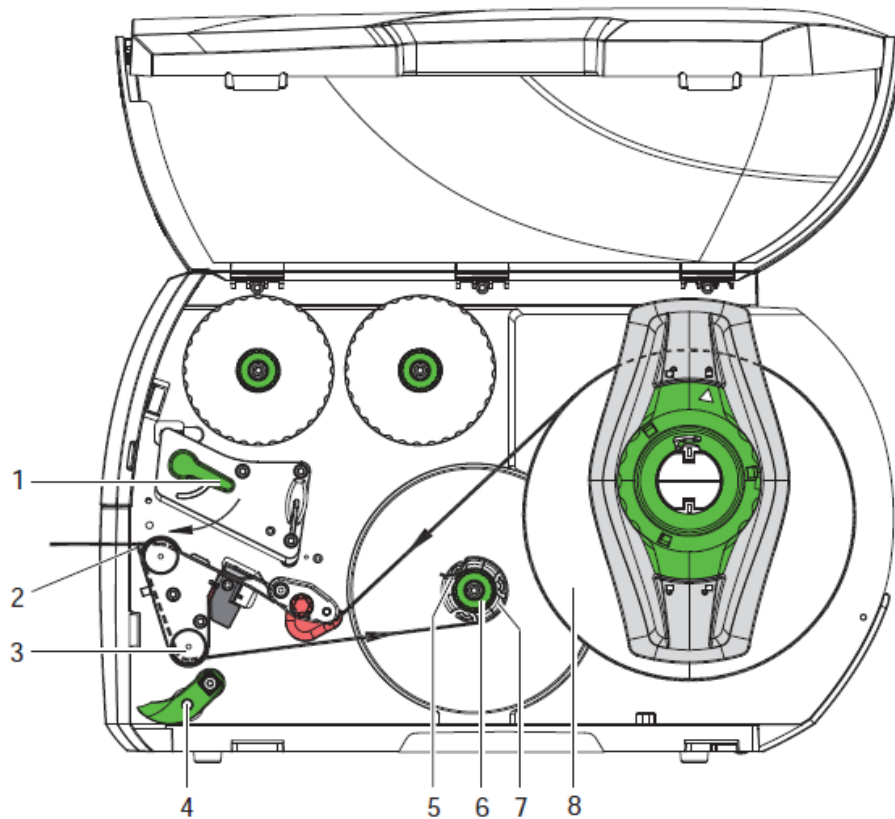


図 15 剥がし (Peel-Off) モードでのメディアのルート

剥がし (Peel-Off) モードでは、ラベルは印刷後に剥がされ、ライナーのみが内部で巻き取られます。

1. ピンチローラ (4) リワインドアシストローラ (3) の上へ引き上げてください。
2. ラベルをライナーの最初の 100mm から剥がしてください。
3. ライナーを供給プレート (2) とリワインドアシストローラ (3) を回ってリワインダへ進めてください。
4. リワインダ (3) をしっかり持って、ノブ (6) を止まるところまで時計回りに回してください。
5. ライナーをリワインダ (7) のブラケット (5) の下に押し込み、ストリップの外側の端をメディアロール (8) に位置あわせしてください。
6. ノブ (6) を止まるところまで反時計回りに回してください。リワインダは最大に開かれ、ライナーをしっかりつかんでいます。
7. リワインダ (7) を反時計回りに回してライナーを張ってください。
8. ピンチローラ (4) をライナーに対して真ん中に位置づけてください。
9. リワインドアシストローラ (3) をピンチローラ (4) を振ってください。
10. レーバー (1) を時計回りに回してプリントヘッドをロックしてください。

剥がし (Peel-Off) モードでできるようにラベルロールは設置されました。

4. 2 折りたたみメディアを設置

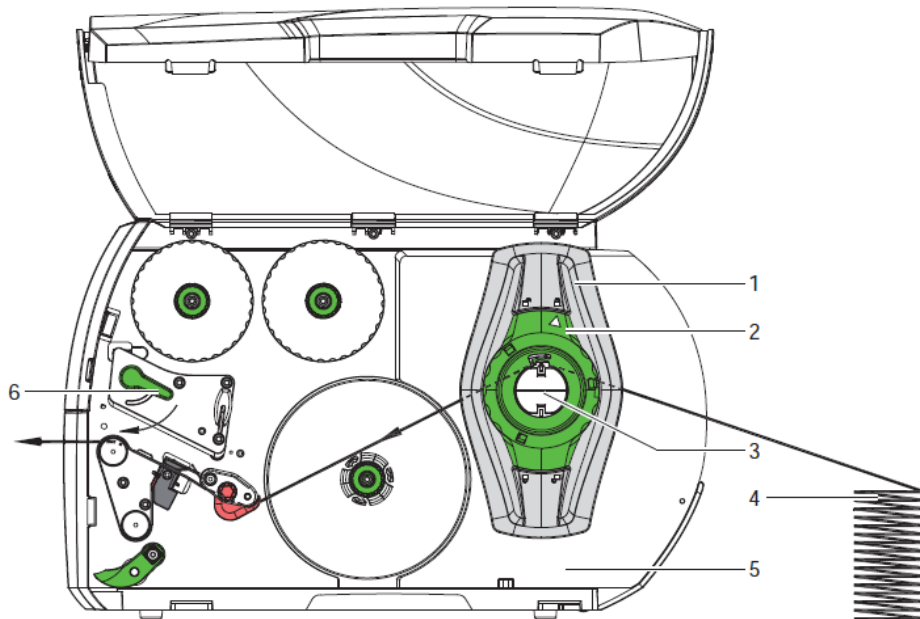


図 16 折りたたみメディアの通り道

1. 矢印がを指すようにリング（2）を反時計回りに回しますと、マージンストップ（1）が開放されます。
2. 下記の位置になるようにマージンストップ（1）を移動してください。
 - * SQUIX 4/4P: メディアがマージンストップとシャーシの間を通るように。
 - * SQUIX 4M/4MP/4MT: メディアが2つのマージンストップの間を通るように。
3. プリンタの後ろ側にメディアのスタック（積み重ね）を設置してください。ストリップのラベルが上から見えている事を確認してください。
4. ラベルストリップをロール固定装置の上を通してプリントユニットへ。
5. シャーシ（5）及びマージンストップ（1）又は両方のマージンストップを曲がったりしないようにメディアストリップに接するところまでマージンストップを移動してください。
6. 矢印がを指すようにリング（2）を時計回りに回すことにより、マージンストップ（1）はロール固定装置に固定されます。
7. プリントヘッドへメディアストリップを挿入してください。（ページ16の4. 1. 2）
8. ラベルセンサを設置してください。（ページ17 1. 3）
9. ヘッドロックシステムを設置してください。（ページ22 4. 3）

10. レバー（6）を時計回りに回してプリントヘッドをロックしてください。

4. 3 ヘッドロックシステムを設置

SQUIX 4/4P

2つのプランジャーによってプリントヘッドは押さえ込まれます。外側のプランジャーは以下のためにラベルメディアの幅に合わす必要があります。

- ラベル幅全体に均等な印字品質を確保
- 転写リボンの通り道にしわの防止
- プリントローラ及びプリントヘッドの早期磨耗の防止

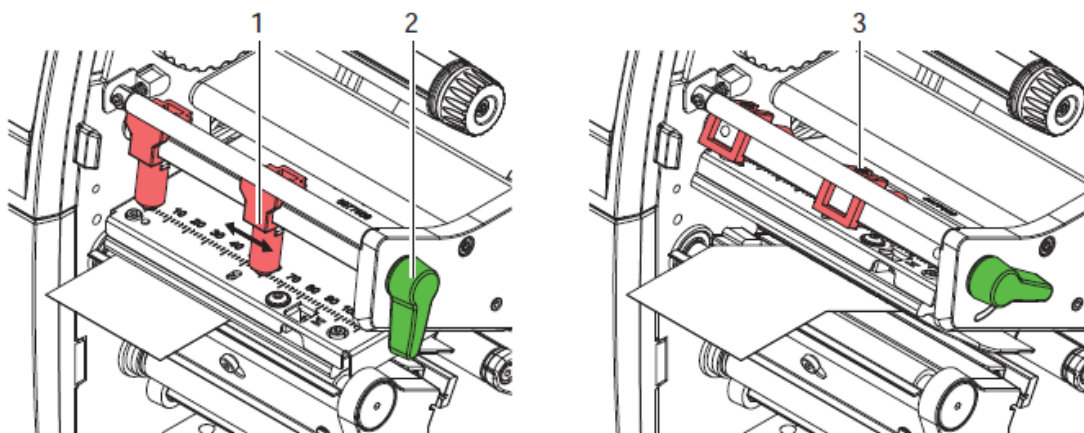


図 17 SQUIX 4/4P のヘッドロックシステムの設置

- 外側のプランジャー（1）のねじ切りされたピン（3）を六角レンチで緩めてください。
- レバー（2）を時計回りに回してプリントヘッドをロックしてください。
- 外側のプランジャー（1）を外側のメディアの端に位置づけてください。
- ピン（3）を締めてください。

SQUIX 4M/4MP/4MT

2つのプランジャーによってプリントヘッドは押さえ込まれます。基本設定では、プランジャーはプリントヘッド固定装置の真ん中に設置されます。この設定はほとんどのアプリケーションで使用可能です。

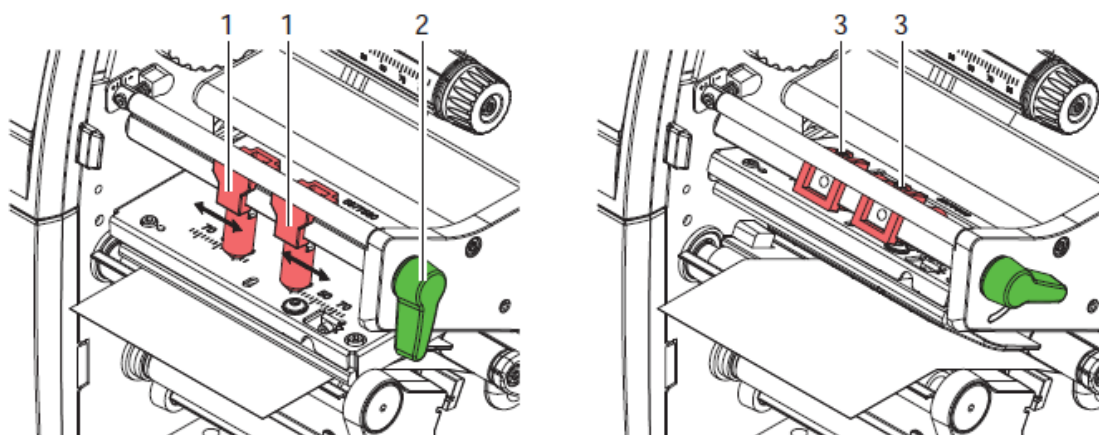


図 18 SQUIX 4M/4MP/4MT のヘッドロックシステムの設置

大きなメディアを使用する場合、もし外側のところで印刷濃度が低下する場合、プランジャーを動かすことができます。

- プランジャー（１）のところのピン（３）を六角レンチで緩めてください。
- レバー（２）を時計回りに回してプリントヘッドをロックしてください。
- プランジャーを目盛 70 のところへ動かしてください。
- ピン（３）を締めてください。

４．４ リワインドガイドプレート、供給プレート又は切り取りプレートの取り外しと設置

別のモードで使用するためにプリンタを変換する場合、リワインドプレート(2a)、供給プレートと（２ b）又は切り取りプレート（２ c）などを設置する必要があります。

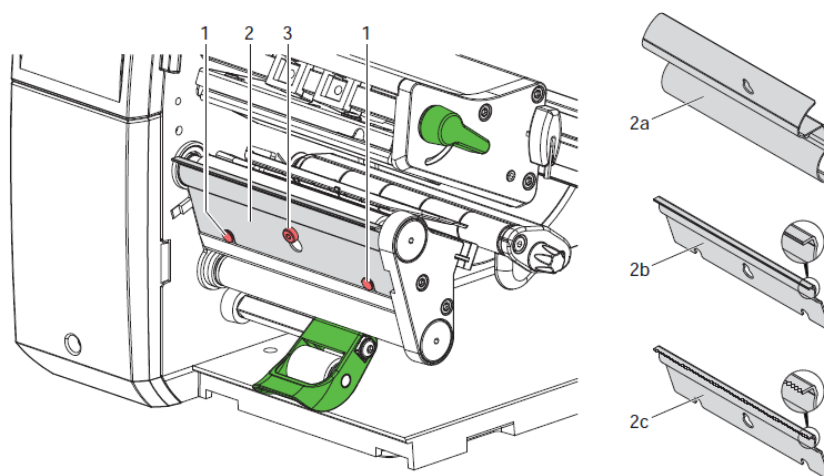


図 19 リワインドガイドプレート、供給プレート又は切り取りプレートの取り外しと設置

プレートを取り外す

- ねじ（３）を緩める。
- プレートを上側にスライドさせて、外す。

プレートの設置

- プレート（２）をねじ（３）に乗せて、ピン（１）の後ろ側へ下向けにスライドします。
- ねじ（３）を締めてください。

４．５ 転写リボンをインストール

注記： ダイレクトサーマル印刷の場合は転写リボンは設置しないでください。すでにインストールされているのであれば、取り外してください。

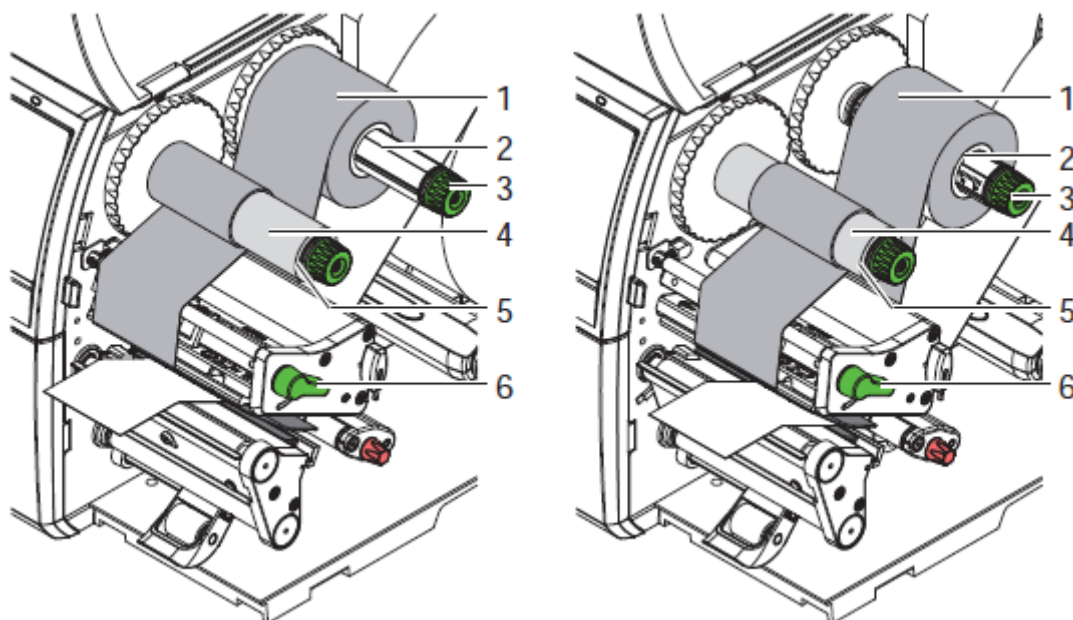


図 20 転写リボンをインストール

1. 転写リボンをインストールする前にプリントヘッドをクリーニングしてください。（ページ 256.3）
2. レバー（６）を反時計回りに回してプリントヘッドを引き上げてください。
3. 転写リボンロール（１）をリボン供給ハブ（２）へスライドさせてください。巻き戻される場合、リボンのカラーコーティングの面が下側に向くようにしてください。
4. *SQUIX 4/4P: 止まるまでロール（３）をスライドさせてください。 *SQUIX 4M/4MP/4MT: ロールの終わりが同じ目盛を示すようにロールを位置づけてください。
5. 転写リボンロール（１）をしっかり持って、転写リボンが固定されるまで、リボン供給ハブ（３）のノブを反時計回りに回してください。
6. 適切な転写リボンの芯（４）を転写リボンハブ（５）にスライドさせて、同じように孤影してください。

7. 図 2 1 のように転写リボンをプリントユニットへ通してください。
8. 接着テープで転写リボンの始まりを転写リボンの芯（４）へ固定してください。転写リボンおハブが反時計回りの方向へ回転することを確認してください。
9. 転写リボンの流れがスムーズに動くように、転写リボンハブ（５）を反時計回りに回転させてください。
10. レバー（６）を時計回りに回してプリントヘッドをロックしてください。

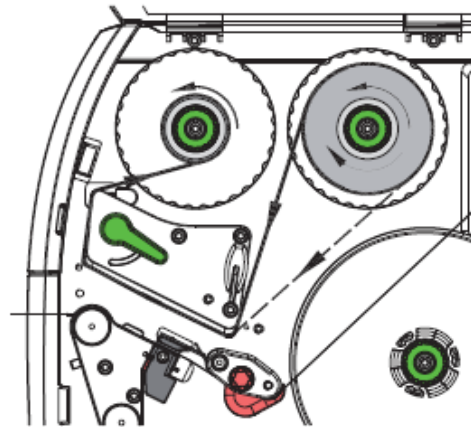


図 21 転写リボンの進路

4. 6 転写リボンの進路を設置

しわがよらないように、転写リボンの歪み調整（３）を行ってください。

注記： ヘッドロックシステムの調整不良がリボンのしわの原因になることがあります。（ページ 2 2 4. 3）

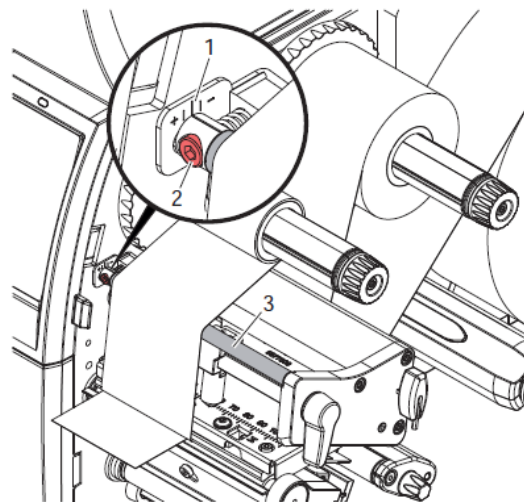


図 22 転写リボンの進路の設置

注記： 調整は印刷中に行うのが最適です。

- 目盛での現在の設定を確認して、必要があれば記録してください。
- ねじ（3）を六角レンチで回しながら、リボンの状況を確認してください。（+）の方向ではリボンの内側が締まりますが、（-）の方向では外側が締まります。

5 印刷動作

注記！ 不適切な扱いはプリンタヘッドを傷めます！

- プリントヘッドの下側を指や尖ったもので触らないでください。
- ラベルが綺麗であることを確かめてください。
- ラベルの表面がスムーズであることを確かめてください。ざらざらなラベルは研磨紙のような働きをして、プリントヘッドの寿命が短くなります。
- できる限り低いプリントヘッドの温度で印刷してください。

5. 1 給紙の同期（シンクロナイズーション）

すべての接続がなされ、ラベル及び熱転写リボンが取り付けられ、プリントヘッドがロックされていれば、プリンタ操作の準備完了です。プリンタのコンフィグレーションの詳細については“Configuration Instructions A2+ A4+ A6+ A8+”を参照してください。

ラベルストックが挿入されましたら、剥がし（Peel-Off）モードでは紙送りの同期性

（Synchronization）が必要です。それにより、ラベルセンサに検出される最初のラベルが印刷位置に運ばれ、その前にあるすべてのラベルはプリンタの外に送り出されます。ですから同期化は最初に印刷されたラベルと一緒に無地のラベルが剥がれることを防ぎます。その効果は、無駄な最初のラベルを引き起こす可能性があります

- を選んで同期をスタートさせてください。
- 同期の最中に剥がれたあるいは切れた無地のラベルを取り去ってください。

5. 2 切り取り（Tear-Off）モード

切り取り（Tear-Off）モードではラベル又は連続メディアが印刷されます。印刷後ラベルストリップは手で離します。ラベルプリンタには切り取り（Tear-Off）プレートが必要です。

5. 3 剥がし（Peel-Off）モード

剥がし（Peel-Off）モードでは印刷後ラベルは自動的に用紙から剥がされ、そして取り除きやすいように送り出されます。ライナーは内部リワインダに巻き取られます。このモードは Peel-off プリンタにしかございません。プリンタには供給プレートの装備が必要です。

注記！

Peel-off モードはソフトウェアで起動する必要があります。

これにはプログラミングの“P command”で実行します。

もっとも簡単なケースでは、Peel-off モードはタッチスクリーンディスプレイでコントロールが可能です。

- Peel-off モードでプリントジョブを開始。
- タッチスクリーンディスプレイ上の  を押して各 Peel-off を始めます。
- オプションの PS800 又は PS900 を使う場合、剥離位置のラベルは光学センサによって検知されます。ラベルが取り除かれた後に次のラベルが印刷され、剥離の位置まで送られます。
- アプリケーター S1000 及び S3200 又は供給モジュール S5104 使用の場合、ラベルは直接商品に貼り付けられます。

5. 4 内部リワインダ

印刷後ラベルは用紙と共に後の使用のために内部で巻き戻されます。このモードは Peel-off プリンタにしかありません。プリンタには供給プレートの装備が必要です。ラベルプリンタは巻き戻しガイドプレートが装備されていないとなりません。

5. 5 メディアのフィードバックを抑制する（SQUIX 4MT のみ）

注記： SQUIX 4MT の場合、カットモード又は印刷ジョブの間にメディアがフィードバックされることは許されません。

フィードバックを防ぐためには

- プリンタドライバメニューで General>Print Settings>Advanced Setup>Options
 - “Ignore label position”を起動、そして
 - “Single buffer mode”を無効に
- 又は
- 直接プログラミング
 - コマンド O F を使用、そして
 - コマンド O S を使わない

6 クリーニング

6. 1 クリーニングについての注意事項



電気ショックで死に至る危険性あり！

- メンテナンスを行う場合は電源ケーブルをプリンタから必ず抜いてください。
- サーマルヘッドの長持ちのためには定期的なクリーニングが重要です。



研磨用洗剤はプリンタを痛める危険性があります。

- 表面やアセンブリーをクリーニングする際に研磨剤や溶剤は使用しないでください。
- 柔らかいブラシか掃除機で印刷部分からほこりや紙くずなどを取り除いてください。
- 外側の表面は万能クリーナで拭いてください。

6. 2 プリントローラのクリーニング

毎回ラベルロールを交換するとき又は印刷イメージ及びラベル送りに悪影響が見られる場合に掃除を実施してください。

1. レバー（ページ 10,4）を反時計回りに回してプリントヘッドを持ち上げます。
2. プリンタからラベル及び熱転写リボンを取り外してください。
3. ローラクリーナと柔らかい布で堆積物を拭き取ってください。
4. ローラが破損しているように見受けられましたら、交換してください。

6. 3 プリントヘッドのクリーニング

- ・ 感熱印刷の場合： 毎回ラベルロールを取り替えるとき
- ・ 熱転写印刷の場合： 熱転写リボンを交換するとき又は印刷イメージが悪影響を受けているとき

印刷中にプリントヘッドに不純物が溜まり、印刷に悪影響を及ぼします、例えばコントラストの違い又は縦に線が入る。



プリントヘッドが破損する恐れが！

- とがっていたり、硬いものでプリントヘッドを掃除しないでください。
- プリントヘッドの保護ガラス層には触れないでください。



注記： プリントヘッドは非常に熱くなりまから危険です。冷めてからクリーニングを始めてください。

- レバー（ページ 1 5 4）を反時計回りに回してプリントヘッドを持ち上げます。
- プリンタからラベル及び熱転写リボンを取り外してください。
- 特別なクリーニングペン又はアルコール 100%に浸した綿棒を使ってプリントヘッドの表面を拭いてください。
- プリンタの運転を開始する前に 2～3 分程度プリントヘッドが乾くのを待つ

6. 4 ラベルセンサのクリーニング



注記： ラベルセンサはダメージを受ける可能性があります！

尖った又は硬い物や溶剤はラベルセンサのクリーニングには使用しないでください。

ラベルセンサは紙埃によって汚れます。このような事はラベルの検知に影響します。

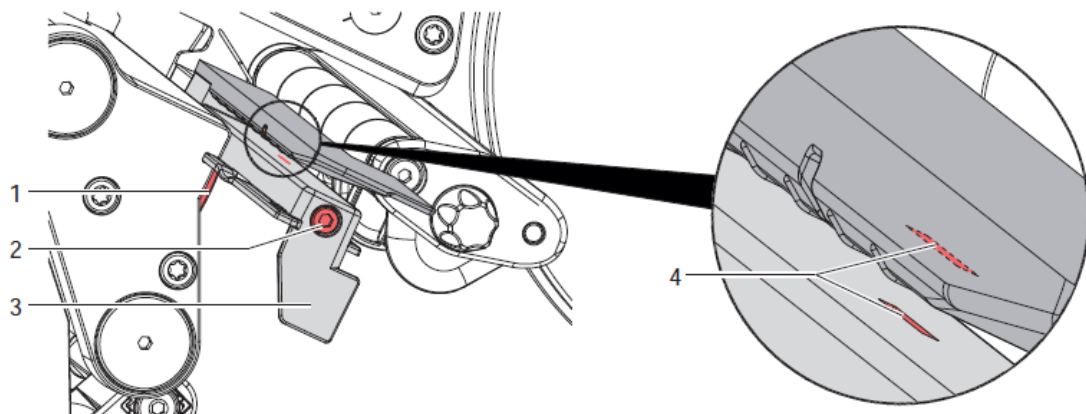


図 23 ラベルセンサのクリーニング

1. ラベルと熱転写リボンをプリンタから取り外してください。
2. ねじ（2）を緩めてください。
3. ボタン（1）押しながら、ラベルセンサをゆっくりタブ（3）から外側へ引っ張ってください。ラベルセンサのケーブルが伸びないように注意してください。
4. ラベルセンサースロット（4）をブラシ又はアルコール 100%に浸した綿棒で拭いてください。
5. ラベルセンサを押し戻してください（ページ 1 7 4. 1. 3）。
6. ラベルと転写リボンを再度取り付けてください

7 カスタマーサポート

ムナゾ株式会社は以下のテクニカルサポートを電話・FAX・E-mail で実施いたします。

TEL(078)857-5447・FAX (078) 857-5443

E-mail : munazo@munazo.jp

- インストレーション
- 設定及びセットアップ
- オペレーション及び付帯品の取り付け
- 正しいメディアとリボンの仕様
- アフターサービスサポートに対する質問応対



但し、予防メンテや救済メンテナンス等サポートサービスは別途費用が必要です。

詳細は、http://barcodeverifier.us/prINTER_support.htmをご参照下さい。